

分科会 4

ピアサポートの部屋 ～メタ元気+サークルズ 2014～

澤田優美子（日本社会事業大学大学院）

加藤道広（おたすけ club ぴあかん）

コーディネーター：宇田川健（NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）

有村律子（埼玉県精神障害者団体連合会・ポプリ）

ピアサポートの部屋では、今年から、「仲間の交流とリカバリー（元気+）の輪を広げるため『ピアサポートグループ』（元気+サークルズ）の進め方・立ち上げ方マニュアル 2013 年度暫定版」とそのツールキットを使ってのプログラムとなりました。

前半はマニュアル作成に関わった、加藤道広さんと澤田優美子さんからのマニュアル作成の報告、後半はいつも通り小グループに分かれての、分かち合いのグループワークをしました。

前半での発表の部分では、加藤さんからは、マニュアル、ツールキットの出来上がる過程での話し合いでいろいろ出たことの報告や、そもそもピアってなんだろうという問いかけがありました。澤田さんからは、自分の発病からの、ピアサポートの経験、地元のピアサポート活動や当事者ビジネスについての発表があり、マニュアルとツールキットの使い方と、それを使った分かち合いのやり方について、説明がありました。

後半では、また、フロアの全員に荷物ごと移動してもらい、今年は「お互いの目を見て、声を出して、3～6人でグループを作ってください」とお願いしたところ、10分程度で、全員がグループを作って分かれてもらえました。

その場で話し合っただけでファシリテーターを決めてもらい、ファシリテーターさんから、いろいろな質問がありましたが、1時間半のグループワークで、マニュアルとツールキットを用いて経験の分かち合いを体験してもらいました。

マニュアルでは、終了まで20分から30分になったら、テーマを決めて語り合いを終え事務的な話し合いに入りますが、今回はグループの名前をみんなで話し合っただけで決められました。

ラスト15分になったところで、各グループのファシリテーターさんに、グループ名と今日の感想をインタビューして回りました。そして小グループは解散しました。

その後、机と椅子を元に戻してもらい、アンケートを書いていただいて、終了となりました。

インタビューをして回っている間も、みんなが、がやがやして、各グループの話し合いが止まりませんでした。インタビューの結果、ほとんどのグループで突然、初めてファシリテーターをやってみたが、満足できる結果に終わったようでした。

《宇田川健（NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）》